vol.62
2021.05
H-SATT

農林水産省 近畿農政局（兵庫県拠点）

# 農政局だより@ひょうご

〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎
TEL:078-331-5924　email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp

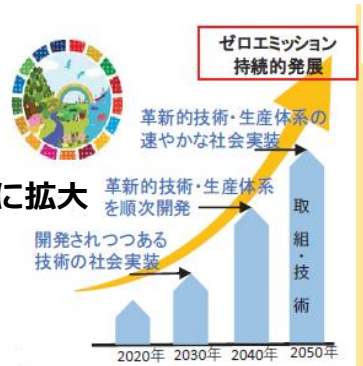
## みどりの食料システム戦略の策定について

農林水産省は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」を策定しました。

### 目指す姿と取組方向

2050年までに目指す姿

- ○ 農林水産業の**CO2ゼロエミッション化**の実現
- ○ 低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により**化学農薬の使用量（リスク換算）**を**50%低減**
- ○ **輸入原料や化石燃料を原料**とした**化学肥料の使用量を30%低減**
- ○ 耕地面積に占める**有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大**
- ○ 2030年までに**食品製造業の労働生産性を最低3割向上**
- ○ 2030年までに食品企業における**持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す**
- ○ **エリートツリー**等を林業用苗木の**9割以上に拡大**
- ○ **ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%**を実現

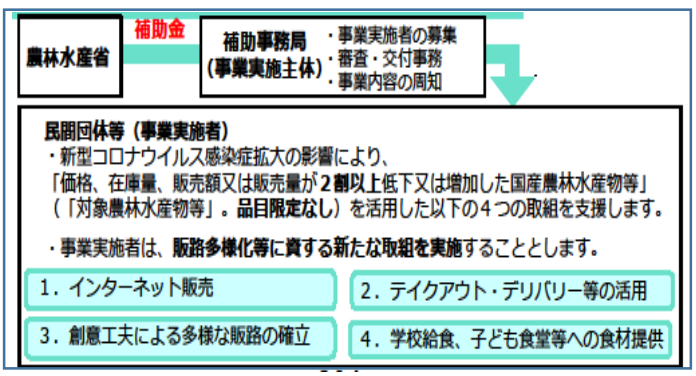



これらの目標の実現に向けて、調達から生産、加工・流通、消費における関係者の意欲的な取組を引き出すとともに、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装に取り組んでいくこととしています。

詳しくは https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/team1.html

新型コロナウィルス禍で売り上げが2割以上落ち込んだ農産物の販売促進活動を支援する

## 「国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業」の３次募集を受け付けています




- ・公募期間
  令和３年５月14日(金)～同年**６月22日(火)**
- ・採択通知
  令和３年７月上旬
- ・事業実施期間
  令和３年７月中旬(交付決定後)～
  同年９月30日(木)

【Zoomによるオンライン説明会】
令和3年5月25日（火）11：00
令和3年5月31日（月）14：00

販路多様化事業事務局ホームページ　https://hanrotayouka.jp/
農林水産省ホームページhttps://www.maff.go.jp/j/kanbo/tayouka/201216.html

キラリ☆現場にて

# 丹波で旨い米とにんじんづくりに全力！

## 〈宮垣農産　宮垣　良一さん〉

丹波市で、水稲や野菜等を栽培されている「宮垣農産」の宮垣良一さんにお話を伺いました。

### －農業を始めたきっかけは？－

最初は農業に全く関係がない会社で働いていましたが、23歳の時に会社を辞めて実家に戻ってきました。その時が農業のスタートになります。
三田市で野菜作りもしていましたが、今は実家で大好きな農業に打ち込んでいます。

### －どのような農業をされていますか？－

30年前から父親が無農薬栽培に取り組んで今に至っています。有機ＪＡＳ認証を取得して10年以上経過しました。
また、圃場の土壌分析を20年前から行っています。分析結果から足りない成分を把握して栽培に適した土づくりを心がけています。
堆肥は、近隣の畜産業者から糞を引き取り、うちのもみ殻と混ぜ自家製堆肥を製造しています。エアレーション設備を導入したことにより、3回の切り替えしで効率よく製造できるようになりました。匂いもありません。

栽培に適した土作りのために
土壌分析を行っている

にんじんの栽培は10年目ですが、当初のにんじん掘取機は砂地圃場に対応したもので、丹波市は粘土質のため機械化が困難でした。しかし、５年前に粘土質に対応したにんじん堀取機が開発され、今はこれで生産拡大することができました。

### －今後の目標や挑戦したいことは？－

スマート農業の取り組みとして、ドローンによる肥料散布で作業の効率化を考えています。
あと、新規就農希望者の育成に力を入れて行くことや、良い作物を栽培するために必要な良質の水を得られるよう、山の整備等もやってみたいです。

## 農の雇用事業（令和３年８月研修開始分）の募集開始について

農林水産省は、農業法人等が就農希望者を新たに雇用して実施する研修に対して支援を行う**「農の雇用事業」**を実施しております。

①募集の種類：**雇用就農者育成・独立支援タイプ**と**新法人設立支援タイプ**の２種類
②募集期間：令和３年５月７日（金）から同年**６月４日（金）**まで
③兵庫県の問い合わせ先：(公社）ひょうご農林機構　電話 078-391-1221(代)

詳しくは https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/200507.html

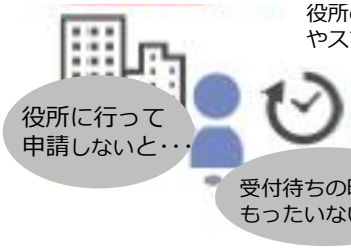
イージー&スマートに　ダイレクト申請！

# 農林水産省共通申請サービス始まりました

農林水産省では、当省の所管する法令に基づく申請や補助金・交付金の申請をオンラインで行うことができる**農林水産省共通申請サービス**（通称：**eMAFF**）を構築しました

## Point 1　自宅のPC、スマホから申請可能に

役所の開庁時間に縛られることなく自宅のパソコン（※1）やスマートフォン(※2）タブレットからも申請できます。

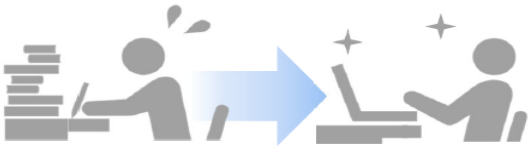



ワンストップ・ワンスオンリー（一度提出した情報は再提出不要）で手間が省けます。

※1　OSは、Windows10（ブラウザはGoogle Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge（Chromium）又はmacOS10.14以上（用Google Chrome、Mozilla Firefox、Apple Safari）の動作を保証
※2　OSは、Android9.0以上（用Google Chrome）又はiOS（用Apple Safari）の動作を保証

## Point 2　紙の管理が不要に

申請書類を紙で管理する必要はありません。
過去の申請情報も利用できるため、申請様式を記入する手間が省けます。



## Point 3　審査状況の確認も簡単

自分が行った申請の審査状況をリアルタイムで把握することもできます！

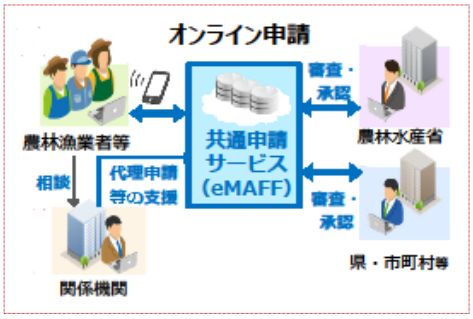
### もちろん安全対策もしっかり

二要素認証でなりすまし対策を実施しています。

経済産業省が構築した法人共通認証基盤（GビズID）で払い出されるIDを利用します。
また、二要素認証（２つ異なる方法による認証）により、申請者の確認が行われます。

## 申請可能な手続

令和２年度(2020年度)から、一部の手続についてオンライン申請の受け付けを開始しているほか、令和３年度は大幅に拡大する予定です。
・認定農業者制度(国・都道府県認定、市町村認定は順次拡大中。)
・経営所得安定対策等制度(9農業再生協議会が受付を開始。順次拡大予定。)
・関税割当制度(乳製品について先行導入。令和３年以降品目拡大)等




## 今後の展開

令和３年度（2021年度）から共通申請サービスは本格稼働します。
林業・漁業も含め農林水産省の申請手続のオンライン化を順次拡大し、令和４年度までに全ての手続のオンライン化を目指しています！

※現在、オンライン申請可能な手続きは、eMAFFのトップページで御確認いただけます

# 「第5回食育活動表彰」の受賞者が決まりました

農林水産省は、ボランティア活動、教育活動、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として「食育活動表彰」を実施しています。

**《兵庫県内の受賞者》**

【ボランティア部門　食育推進ボランティアの部】
**消費・安全局長**

**香美町とと活隊**

魚食普及活動
～「香美町とと条例」の普及・啓発をめざして～

【教育関係者・事業者部門　教育等関係者の部】
**農林水産大臣賞**

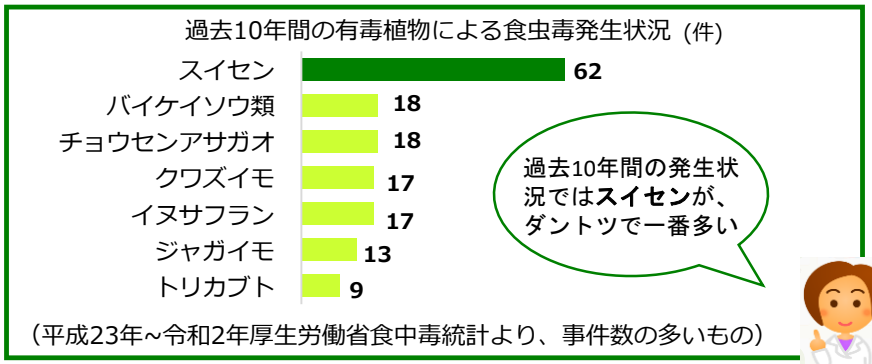
**認定こども園**
**武庫愛の園幼稚園**

「偏食からのはじめの一歩」プロジェクト
～子供たちの「もの」「ひと」「こと」に関わる力の変容をめざして～

詳しくは　https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/5th/result.html

# 有毒植物に注意しましょう

## 知らない野草、山菜は採らない、食べない、人にあげない！



例年、春先から初夏にかけて、有毒な成分を含む植物を、食べても安全な山菜や野草と間違って食べてしまうことによる食中毒が数多く起きています。

－野菜と外見のよく似た有毒植物の例－

○家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。

○有毒植物が山菜に混じっていることがあります。
食用と確実に判断できない植物を食べるのはやめましょう。

○生産者や販売者のみなさんは、野菜や山草を栽培、収穫、加工、出荷、販売する際には、有毒植物が混じらないよう十分注意しましょう。

詳しくは https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/natural_toxins.html

## 「令和3年農作業安全ポスターデザインコンテスト」の開催

農林水産省では、「春の農作業安全確認運動」の一環として、農作業安全に対する国民意識の醸成及び効果的な推進を図るため、4月23日から6月23日までの間、農作業安全を広く呼びかける「令和3年農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催します。

詳しくは https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sizai/210423.html

**編集後記**

今年の近畿地方の梅雨入りは5月16日で前年より25日、平年より21日それぞれ早く、統計開始以来最も早いそうです。梅雨入りは春の終わりで田植えの時期ともいわれており、また、梅雨入りが早い年は梅雨の期間が長くなるともいわれています、大雨等の被害が発生しないよう切に願います。（H.T）

**地方参事官ホットライン**

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

**TEL：078-331-5924　FAX：078-331-5177**